

は～とわ～と Heart Net

13
vol.

は～とわ～と
ご自由に
お持ちください

Heart Net

APRIL 2013 Vol.13

循環器内科での
狭心症の血管内治療法
ご挨拶
・伝言板

循環器内科開設に寄せて

発行／特定医療法人 札幌白石脳神経外科病院
〒003-0026 北海道札幌市白石区本通8丁目南1-10 TEL(011)863-5151(代表)

Design: H-Hashimoto

新春餅つき大会を初開催しました

2013年1月4日当院1階ロビーにて「新春餅つき大会」を開催いたしました。

当院スタッフが餅をつき、外来にいらっしゃった皆様につきたてのお餅をお配りしました。皆様に喜んでいただけるようハッピを着たり、紅白幕をかけたりと工夫を凝らしました。初めての取り組みでしたので不安もありましたが、皆様の喜んでいただいているお顔を見し、またこのように患者様と一緒に取り組んでいける行事を開催したいと思います。

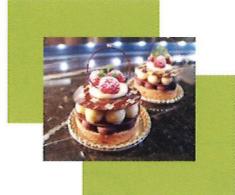


編集後記 STAFF VOICE

大道

甘いものをたくさん食べてエネルギー補給です!!

循環器内科が導入されるのでケーキを食べながら勉強したいと思います☆



外来担当医表 平成25年4月1日(月)から

	月	火	水	木	金	土				
	脳神経外科	循環器内科	脳神経外科	循環器内科	脳神経外科	循環器内科	脳神経外科	循環器内科	脳神経外科	循環器内科
午前	1 診	宮田		宮田(新患のみ)	宮田	宮田(新患のみ)		宮田		宮田(2週・4週)
	2 診	大坊	米 増		大坊		本田		大坊	
	3 診	高 橋	野 中		米 増			本田	本田	大坂・札医派遣
	4 診	岡(札医)					佐々木(札医)			
	5 診	安 藤								
午後	1 診	宮田	中 西		休 診		尾崎		宮田	
	2 診	斎藤 大坂	恩 田	本田		高 橋		恩 田		
	3 診	野 中	大 坂	大 坂				大 坂		
	4 診	岡(札医)				佐々木(札医)				
	5 診		宮本(不整脈外来)							

※1:神経内科 斎藤先生(1、3週)、脳神経外科 大坂先生(2、4、5週) ※2:不整脈外来 宮本先生(1、3週) ※3:宮田先生(循環器内科)第1、第3週土曜日休診

理念 患者様に理解・信頼され、医師にも信頼される病院を目指します。

- 1. 医の倫理を重んじ、安全かつ高水準で、患者様のための最善の医療を提供します。
- 2. 患者様のプライバシーを守り、必要な説明責任を果たします。また、ご自身の医療について知る権利・選択する権利・決定する権利を最大限尊重します。
- 3. 職員は自らの知識・技術・マナーの向上を図り、医療人として自覚し資質を高めるよう研鑽します。
- 4. 地域住民の健康管理を通して予防医療を行い、地域医療に貢献します。

患者様の権利 1.平等かつ公平に医療を受ける権利 病気、性別、年齢、社会的立場、宗教などにかかわらず、どなたでも平等に適切な医療を受けることが出来ます。

2.良質な医療を受ける権利 安全で最善の医療を効率的に受けることが出来ます。

3.十分な説明と情報提供を受ける権利 病気、検査、治療、危険性、他の治療方法や見通しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、十分な説明と情報の提供を受ける事が出来ます。

4.自己決定の権利 十分な説明と情報提供を受けた上で、治療方法などを自らの意志で選択・拒否することが出来ます。

5.選択の自由の権利 医療機関を自由に選択・変更する権利と他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めることが出来ます。

6.個人情報が守られる権利 診療上得られた個人情報を、ご自身の承諾なしにみだりに、他人に漏らされることはありません。

7.苦情を申し立てる権利 マナーや対応についてご意見がありましたら、意見箱及び、相談窓口を御利用下さい。



看護師募集のおしらせ

私たちと、いっしょに働いてくださる看護師のみなさんを募集しております。詳しくは、当院看護部ホームページhttp://www.ssn-hp.jp/recruit または、問合せ:看護部長・田代まで

011-863-5151(代表)

名称／特定医療法人 札幌白石脳神経外科病院
診療科目／脳神経外科、脳血管内治療科、
循環器内科、リハビリテーション科
住所／〒003-0026
札幌市白石区本通8丁目南1番10号
電話／代表(011)863-5151
FAX／(011)863-5161
HPアドレス／http://www.ssn-hp.jp/

循環器内科開設のじ挨拶

当院は2011年の新病院への

びとなりました。

移転時に最新のMRI、CTおよび脳血管撮影機器を導入し、脳動脈瘤のコイル塞栓術や頸部頸動脈狭窄症に対するステント留置術に加え、脳梗塞急性期に対する血栓溶解療法と、これに引き続く再開通療法など、脳卒中に対する最新の治療が的確に行える環境を整備することができました。これによ

り現在、365日24時間体制で最善の脳卒中に対する急性期治療をすることができました。これにより患者様ご提供しているところです。

しかしながら高齢化社会を迎えるに当たり、当院で治療を受けられる患者様の中には、心臓・血管病を併発されている方が数多くおられるのが現状です。心臓・血管病に対して脳神経外科医のみによる対応は徐々に難しくなってきており、これらの疾患を専門にする循環器内科医との協力が欠かせない状況となつて参りました。当院でも今回の移転に合わせて、循環器内科医による外来診療をスタートさせましたが、今春いよいよ待望の循環器内科病棟を開設する運

当院循環器内科は、2011年

10月より新設され、冠動脈及び末梢血管CT、心臓・血管MRI、心臓MRIの診断機器を用い、外来診療のみを行つてまいりました。

脳卒中のみならず、今後日本人に増加することが予想されている動脈硬化による心臓および下肢などの末梢血管病変に対し、総合的な治療を行うため、循環器内科専用の最新血管撮影機器を導入いたしました。血管内手術は低侵襲に病変にアプローチできるため、特に高齢の患者様には有益な治療方法として注目されています。当院では血管内手術の専門病院として、"頭から足先まで" 全身の血管病変をターゲットとし、皆様の健康維持に貢献したいと考えております。

今後とも周辺住民の皆様の救急医療の一翼を担うとともに、心・脳卒中診療における最新の治療法をお届けできるよう職員一丸となって頑張りたいと思います。



特定医療法人
札幌白石脳神経外科病院
院長
のなか ただし
野中 雅



特定医療法人
札幌白石脳神経外科病院
循環器内科
みやた せつや
宮田節也



特集

教えて!
宮田先生!

循環器内科での狭心症の血管内治療法

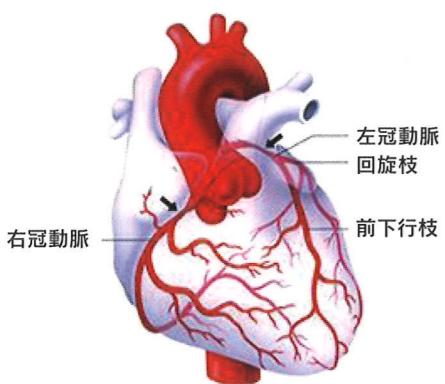
～PCI（経皮的冠動脈インナーベンション）について～



循環器内科
宮田 节也

心臓には、心臓を栄養する左右の冠動脈があります。そのうち、左冠動脈は、左前下行枝と左回旋枝の2本に分かれおり、大きく3本あります。もしも、これらの冠動脈が動脈硬化のため狭くなると、皆さんご存知の「狭心症」という病気になります。

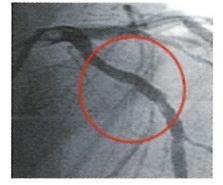
この狭心症を治療する方法に、手首や肘、足のつけ根の血管からカテーテルを入れる「PCI」という血管内治療方法があります。PCIには主に以下の3つの方法があります。



左冠動脈
右冠動脈
左回旋枝
前下行枝



手術前



手術後

PCIによる手術前後の画像。手術前には冠動脈の赤丸で囲った部分に狭窄が認められるが、手術後には拡張しているのがわかります。

2 冠動脈ステント留置術

1 風船治療

(POBA: Plain Old Balloon Angioplasty)

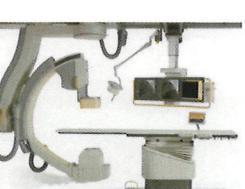
風船による冠動脈拡張術で、現在も基本的な治療法です。しかし、冠動脈の再狭窄、急性冠動脈閉塞、拡張不能病変の存在、冠動脈破裂といった欠点や合併症を引き起こす可能性もあります。

ステント留置術とは、先ほどの風船治療の欠点の中で、冠動脈の再狭窄・急性冠動脈閉塞を改善するために考案されました。ステントは風船の上に装着されており、冠動脈内で風船を拡げることによりステントが冠動脈内で拡がるようになっています。

ステントにより、再狭窄率を30%程度に低下させることが出来ましたが、金属を血管内に留置するため、そのままにしておくと血のかたまり（血栓）ができる詰まってしまいます。

う問題点があります。そこで血液をサラサラにする薬（バイアスピリン、プラビックスなど）の内服が必要となります。ステント治療も風船治療と同様に、6～8か月後の冠動脈造影検査が必要となります。

ステント治療では、ステントの再狭窄という問題点があり、これに対する最近では薬剤溶出性ステントという新しいステントが用いられるようになりました。このステントに



DSA フィリップス社製



シーメンス社製AXIOM Artis dBAJ



RI(SPECT)GE 社製Infinia3

3 ロータブレーラー

ロータブレーラーといふのは、先端にダイヤモンドの粉を散りばめた直徑1.5～2.5mmの高速回転ドリルで冠動脈の狭窄病変部を削る治療方法です。風船治療では、まだ長期的な有効性が確認されておらず、先ほどの血液をサラサラにする薬を長期（少なくとも1年以上、出来れば半永久的に）服用する必要があります。薬の副作用や他の検査、手術を行う際に問題となることがあります。

ロータブレーラーといふのは、先端にダイヤモンドの粉を散りばめた直徑1.5～2.5mmの高速回転ドリルで冠動脈の狭窄病変部を削る治療方法です。風船治療では、まだ长期的な有効性が確認されておらず、先ほどの血液をサラサラにする薬を長期（少なくとも1年以上、出来れば半永久的に）服用する必要があります。薬の副作用や他の検査、手術を行う際に問題となることがあります。